

環境とコニカミノルタ

幅広い分野で事業活動を展開するコニカミノルタ。その事業は、素材・材料の調達から製造、輸送、廃棄など、いたるところで環境とも密接に関わっています。当社では、ISO14001に基づいた独自のルールを策定。環境に配慮した事業活動のもと、環境配慮型製品の開発・普及に取り組んでいます。

製品群ごとの環境配慮の特徴

	デジタル複合機/レーザープリンタ	レンズ付フィルム
製品群	 <p>bizhub C350 Page Pro 1300W</p>	 <p>撮りっきりMini Goody BEST</p>
地球温暖化	<p>使用時が約50% (デジタル複合機)</p>  <p>素材や部品の製造 40.9% 使用 51.0% 製品の製造・加工 8.0% 輸送 0.1% 廃棄 0.0%</p> <p>エネルギー効率のより優れた技術を開発したことにより、使用時のエネルギー消費効率を大幅に向上しました。</p>	<p>素材や部品の製造が約70%</p>  <p>素材や部品の製造 70.2% 製品の製造・加工 24.3% 輸送 4.2% 使用 1.4% 廃棄 0.0%</p> <p>部品の製造エネルギーが不要となる、部品のリユースを推進し、リユース率は90%以上(部品点数比)です。</p>
その他の環境問題	<p>資源の消費、地球温暖化 重合法トナーの開発により、トナー製造時のCO₂排出量を32.4%削減。粒子の均一微粉化と、トナーリサイクルシステムの搭載で、使用トナーの量も減りました。</p> <p>資源の消費、廃棄物問題 使用済みの、デジタル複合機、デジタル複合機用トナーボトル、プリンタ用トナーカートリッジの回収と、リユース・リサイクルを行っています。</p> <p>情報公開 Type III 環境ラベルエコリーフを用いた製品情報公開を積極的に行っています。また、エコリーフ発行のための製品環境データ集積システム保有の認証を複写機・複合機事業とプリンタ事業で取得しています。</p>	<p>資源の消費、廃棄物問題 コニカミノルタでは、1990年に使用済みレンズ付フィルムの回収を開始、1992年には本格的なリユース、リサイクルをスタートし、製品リサイクルの代表的事例として評価を受けています。</p> <p>環境影響化学物質 2002年3月に発売したシリーズ最新機種において、レンズ付フィルムでは世界で初めて鉛フリーはんだを採用。後継機種はすべて鉛フリーです。</p> <p>情報公開 Type III 環境ラベルエコリーフを用いた製品情報公開をホームページで積極的に行っており、これに併せて、製品パッケージへロゴマークを表示しています。</p>

コニカミノルタが生産する製品は、レンズ付フィルムやカラーフィルムからデジタルカメラ、デジタル複合機、各種レンズ、さらには各種現像機に液晶パネル用のフィルムなど、多岐にわたります。そんなさまざまな製品を製造し、提供する企業として、ライフサイクル全般にわたってさまざまな環境への取り組みを行っています。ここでは、コニカミノルタが生産する製品群ごとに、どのような環境配慮がなされているかを紹介します。

カラーフィルム / 印画紙 / 現像処理剤	デジタルカメラ	液晶パネル用TACフィルム / CD・DVD用プラスチックレンズ	製品群 製品のライフサイクルステージ別CO ₂ 排出割合と対策
 <p>Eco JET</p> <p>CENTURIA SUPER 400</p>	 <p>DiIMAGE Z2</p> <p>DiIMAGE Xg</p>	 <p>非球面プラスチックレンズ</p> <p>液晶パネル用TACフィルム</p>	
<p>製品の製造・加工が約60% (カラーフィルム)</p>  <p>工場では、コジェネレーションシステムを1987年という早い時期から導入し、現在3基が運転されています。</p>	<p>素材や部品の製造が約70%</p>  <p>小型軽量化設計により部品の原材料が削減され、すなわち原材料の製造エネルギー削減の効果があります。</p>	<p>製品の製造・加工が約85% (液晶パネル用TACフィルム)</p>  <p>工場では、生産効率アップを追求し、単位生産量あたりのエネルギー使用量の削減を進めています。</p>	
<p>危険・有害化学物質 製品の中に新成分を配合する場合、化学物質のリスク評価を行うシステム「安全性確認システム」が、製品アセスメントの中に組み込まれています。製品アセスメントは開発時に行われます。</p> <p>化学物質 工場の情報公開とリスクコミュニケーションを進めています。東京サイト、小田原サイトは、地域住民との対話として「地域環境報告会」を開催しています。</p> <p>水資源の消費 写真工業では、上質の水が大量に必要です。水使用量削減については、2007年度までに2002年度比20%削減を目標としました。</p>	<p>環境影響化学物質 製品へは以下の施策を実施し有害化学物質削減の取り組みを行っています。 電気基板のはんだ、カメラのレンズには鉛を含まない材料の使用。 六価クロムを含むクロメート処理鋼板使用量の削減。 カメラ内部に使用しているコード線の被覆およびカメラケースに塩ビを含まない材料の使用。</p> <p>資源の消費など 製品の小型軽量化は、資源消費抑制、輸送エネルギーの削減、廃棄物削減の効果があります。コニカミノルタは、独自開発の屈曲型ズームレンズ採用によりコンパクト化を実現し小型軽量化を進めています。</p>	<p>化学物質 液晶パネル用TACフィルム工場では、有機溶剤の回収リサイクルによる大気放出量削減を行っています。この回収装置は、回収率99.7%以上を誇っています。</p> <p>資源の消費、地球温暖化 液晶パネル用TACフィルムの膜厚1/2品の上市実現により、単位生産量あたりの、原材料50%削減、エネルギー30%削減を達成しました。</p> <p>資源の消費、廃棄物問題 レンズ用プラスチック端材は、その材質ごとに分別され、当社のレンズ出荷用のケースとして再利用されるほか、建材などにリサイクルされています。</p>	